

平成24年度第1回熊本県公立大学法人評価委員会(H24.5.29) 議事録

発言者	内 容
事務局	開催宣言及び文書私学局長挨拶
事務局	委員紹介及び定足数確認
委員長選任	
事務局	坂本委員から崎元委員を委員長に推薦する旨の意見があり、全会一致で崎元委員を委員長に選任。
副委員長指名、会議の公開・非公開	
崎元委員長	崎元委員長が、副委員長として坂本委員を指名することを委員に諮ったところ、他委員の了承が得られた。 引き続き会議の公開・非公開についての検討。 会議次第により公開しても支障がないと思われる旨説明。 他委員の同意があり、本日の会議は公開することに決定。
議題1 平成24年度のスケジュールについて	
崎元委員長	それでは、議事に入ります。 議題の(1)「平成24年度のスケジュール」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1-1、資料1-2により「平成24年度のスケジュール」について説明。
崎元委員長	ありがとうございました。平成24年度の評価委員会においては、通常の年度評価に加え第1期中期目標期間全体の評価も実施するというところで、3回の開催が見込まれるとのことでした。 今年度のスケジュールについて、委員の皆様よろしかったでしょうか。
全委員	(同意の声あり。)
議題2 中期目標期間に係る業務実績評価について	
崎元委員長	次に、議題の(2)「中期目標期間に係る業務実績評価」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2-1～資料2-5により「中期目標期間に係る業務実績評価」について説明。

崎元委員長	<p>ありがとうございました。今年度、当委員会が行う期間評価については事務局から説明があったとおり、評価の方法を決める必要があります。</p> <p>また、それに合わせた形で評価要領の改正を行い、法人に提出いただく業務実績報告書は県が定める事業報告書と様式を統一するということでした。</p> <p>委員の皆様から何か御意見、御質問はありませんでしょうか。</p>
崎元委員長	業務実績報告書については、どの項目ごとに記載させるのですか。
事務局	中期目標の小項目ごとを想定しています。
清家委員	中期計画は、達成状況について評価するということですが、実績報告書中「中期計画の実施状況」の欄にはどのような形で記載をするのですか。
事務局	<p>法人には中期計画の実績を書きいただき、最終的には、委員会の評価の中で達成状況としてまとめるということを想定しています。</p> <p>法人の自己評価として達成状況を個別に書くのは、困難であるため、現在の案は、実施状況を書きいただくという考えで作っています。</p>
清家委員	業務実績報告書中「中期計画の実施状況」の横にある「自己評価」欄には、中期計画の達成状況について評価するという認識でよろしいですか。
事務局	はい。
坂本委員	<p>実績報告書はかなり膨大な量になるので、紙ベースだけで読めと言われてもなかなか厳しいと思います。</p> <p>法人から重点的に取り組んだ項目等についてのガイダンスのようなものがあれば、中身を読み込みやすいのですが、いかがですか。</p>
崎元委員長	<p>評価をする手前でヒアリングはあるから、そのようにはなるのではないのでしょうか。</p> <p>法人から報告書が提出された後、我々は予習をして、ヒアリングにおいて法人の説明を聞き、その次に評価を行うという流れです。</p>
坂本委員	予習があってヒアリングですか。私はヒアリングがあって予習かなと思ったんですけども。
事務局	坂本委員がおっしゃるのは、予習する前に何かガイダンスがあるとより理解しやすいという意味ですね。
坂本委員	項目のウエイト付けが分からないので、すべてを読まざるを得ない状態になっているように感じます。

事務局	<p>そのような問題認識は持ちながらも、こういう形になっています。坂本委員が言われるのは、それぞれの項目に少しウエイト付けがあるのではないかと趣旨ではないかと思います。</p>
坂本委員	<p>そのとおりです。項目の中にウエイト付けがあるのではないかと思います。単純に8割以上だから2だとかではなく、その段階を基準として項目のウエイトによって評価するのが望ましいのではないのでしょうか。単純に項目数の問題ではないと思います。</p>
崎元委員長	<p>国立大学法人の場合はウエイト付けがあります。この項目は重点的に実施したのでウエイト2にしたいと申告し、当該項目の評価がよければ2倍の点数が得られるような制度です。</p>
坂本委員	<p>おそらく、中期計画そのものは網羅されているから、本当は、こことここをしたら6年間の8～9割は達成するような項目があるのではないかと考えます。項目のウエイト付けが分かれば評価もやりやすいと思います。</p>
事務局	<p>5年間のまとめを見ていただければわかりますように、議論があった項目等がある程度中心的な項目ではないかと考えています。委員会の回数を増やすことは、皆様の御都合等を考えたときに、大変難しいため、方法としては事務局案をとらせていただきたいが、評価に先立ち法人の考えをまとめていただくように、法人と協議してみたいと思います。</p>
崎元委員長	<p>事務局案のとおり実施するとして、6月末に法人が実績報告書を提出されますが、第2回の評価委員会は7月11日ですから、おそらく予習の時間はあまりないでしょう。7月の委員会の法人へのヒアリングの中で、何がポイントだというのを、報告書を見ながら聞きますが、その際には、重点的に実施した項目等をまとめたものをいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>これまでの年度実績報告においては、「全体的な状況」の中で法人にまとめを書いていただいております。期間の実績報告書においても、同様に「全体的な状況」の中で重点的な項目を書いていただけるものとは考えておりますが、それでいかがでしょうか。</p>
崎元委員長	<p>法人が重点的に取り組んだ項目が委員会に伝わればそれでいいと思います。少なくとも中期計画の中項目程度で要約していただければ、その中でこれを重点的に実施したということを書いていただければいい。記載方法は基本的には法人にお任せします。</p>
崎元委員長	<p>国立大学法人評価委員会において、文部科学省は、特に大学院について定員の充足状況を気にしています。県大の大学院の定員充足状況はいかがですか。</p>
事務局	<p>研究科によっては定員割れしているところもある。</p>

崎元委員長	<p>今後、大学において、定員を充足して、定員分の学生を育成することが基本となります。それを十分やってないと低い評価となるというのが国立大学に対する文部科学省の考え方ようです。</p> <p>この件については、今回の評価では考慮しませんが、今後の参考として、県大において過去5年間定員が充足できたかデータは揃えてもらえますか。</p>
崎元委員長	<p>他にございませんでしょうか。それでは事務局案のとおり、法人には資料2-4の様式で業務実績報告書を提出いただき、資料2-2及び資料2-3のとおり、期間評価については年度評価の方法に準拠して、項目別評価及び全体評価をするということで御了承いただいたということにさせていただきますが、よろしいでしょうか。</p>
全委員	(同意の声あり。)
<p>議題3 役員報酬の基準変更について</p>	
崎元委員長	<p>次に、議題の(3)「役員報酬の基準変更」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料3-1、資料3-2により「役員報酬の基準変更」について説明。</p>
崎元委員長	<p>ただ今の事務局の説明のあったとおりでございますが、何か御質問、御意見ございますか。</p> <p>社会一般の情勢に適合したかどうかは、他のデータがないと本当は判断できないと思いますが。</p>
事務局	<p>他の大学と比較してみたところ、九州の中では低い方です。</p>
崎元委員長	<p>基本給月額については、理事長が役員の業績に応じて20%の範囲内で増減することができるようです。そう簡単ではないと思いますが。</p> <p>これについては、当委員会の意見は「特になし」としてよろしいでしょうか。</p>
全委員	(同意の声あり。)
<p>議題4 中期目標期間期間満了に伴う積立金の処分について</p>	
崎元委員長	<p>次に、議題の(4)「中期目標期間期間満了に伴う積立金の処分」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料4-1～資料4-3により「中期目標期間期間満了に伴う積立金の処分」について説明。</p>

崎元委員長	<p>ありがとうございました。何か御質問、御意見ございますでしょうか。</p> <p>大学の剰余金については、法人化後、経営努力した部分は次年度に繰り越せるという制度になりました。</p> <p>県大の場合、毎年、目的積立金という形で繰り越してきましたが、6年間の中期目標期間終了時にどうするかということが今回の論点です。</p> <p>期間終了後、次期の中期目標期間に繰り越せるというのが常識的な考えだと思いますが、国は国立大学法人に対して、必ずしもそれをやらなかった訳です。</p> <p>事務局から説明があったように、県大に対しては、積立金の額が確定すれば、次回の委員会で基本的には認める方向で議論していただきたいという説明でございました。よろしいでしょうか。</p> <p>今のところ2億強、残る可能性があるということです。大学というのは、高額機器はこのようなシステムがないと、購入が困難だと思います。</p> <p>これは、経営努力に対するインセンティブにもなりますし、業務を改善し、できるだけ教育研究に使うという努力にも繋がりますので、中期目標期間終了後返還するというシステムでない方が私はいいと思います。</p> <p>それでは決定は次回ということで説明いただきました。</p>
議題5 その他	
崎元委員長	次に、議題の(5)「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料5により県大の平成24年度の年度計画について説明。
崎元委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>平成24年度の業務実績評価の際は、年度計画はA3で印刷していただきますようお願いいたします。</p>
事務局	了解しました。
崎元委員長	本日は円滑な議事進行に御協力いただきありがとうございました。これで今回の会議は終わりたいと思います。事務局にお返しします。
事務局	<p>御審議、誠にありがとうございました。</p> <p>次回以降の評価委員会の開催について、御連絡申し上げます。</p> <p>第2回は、平成24年7月11日(水) 午前9時から、第3回は、平成24年8月8日(水) 午後1時30分からとさせていただきますと思いますが、いかがでしょうか。</p>
全委員	(了解の声あり。)
事務局	閉会宣言